

ディボーション質問表

14日（日）先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かせたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

15日（月）ルカの福音書 1：26～38 「お言葉どおりに」

1. 御使いはマリヤに、「恵まれた方」と呼びかけています。 どうしてマリヤを恵まれた方と呼んだのでしょうか。 あなたならそう呼ばれたらどう思いますか？
2. マリヤは「おことばどおりこの身になりますように」と言っています。 マリヤにとってこれは何を意味していたのでしょうか？ またマリヤはどのように言う事が出来たのでしょうか？
3. あなたにとって不可能に思える神の約束が何かありますか。 静まって聞いてみましょう。

16日（火）ルカの福音書 1：39～48 「主をあがめます」

1. エリサベツとマリヤの共通点は何でしょうか？
2. マリヤは、エリサベツから「主によって語られたことは必ず実現すると信じきった人」と言われています。 信じきるとはどのようなことでしょうか？ なぜマリヤはそうする事が出来たのでしょうか？

17日（水）ルカの福音書 1：46～56 「大きな事をされる神」

1. この箇所に幸せについての説明があります。 幸せなのはどういう人だと言われていますか？ その幸せについての説明を読んであなたはどう思いますか？
2. 主があわれみを注がれる人と、注がれない人との違いは何でしょうか？

18日（木）ルカの福音書 1：57～66 「対話の回復」

1. ザカリヤとエリサベツはしきたり（慣習）に従わないで、子どもの名前を「ヨハネ」と名付けました。 あなたにとって乗り越えるべき習慣がありますか？
2. 人々は、両親がヨハネという名前をつけた事と、その時にザカリヤが再び話せるようになった事を伝えました。 それを聞いた人々はこの事を心にとどめました。 私たちは聴いたみことばを心にとどめているのでしょうか？

19日（金）ルカの福音書 1：67～80 「暗闇から光へ」

1. ザカリヤは何故、主を賛美しているのでしょうか？ また救いとは何から救われる事と言われているのでしょうか？ 何故、救って下さるのでしょうか（68～75節）？
2. 幼子（ヨセフ）の使命は何だと言われているのでしょうか？ あなたは自分に与えられている使命が何なのか、はっきりしていますか？ はっきりしていないなら、主に聞いてみましょう。

20日（土）ミカ書 5：1～4 「ベツレヘムの村に」

1. 最も小さいものに目をとめ、救い主を送り出す氏族としてベツレヘムを選ばれた天の父の心を思い巡らしてみましょう。 その眼差しが自分にも注がれている事を覚えましょう。
2. ベツレヘム・エフラテの人々はこの預言を救い主誕生の 700 年前に聞きました。 彼らはどう思ったのでしょうか？ その後の時代のこの町の人々はどのように思っていたのでしょうか？